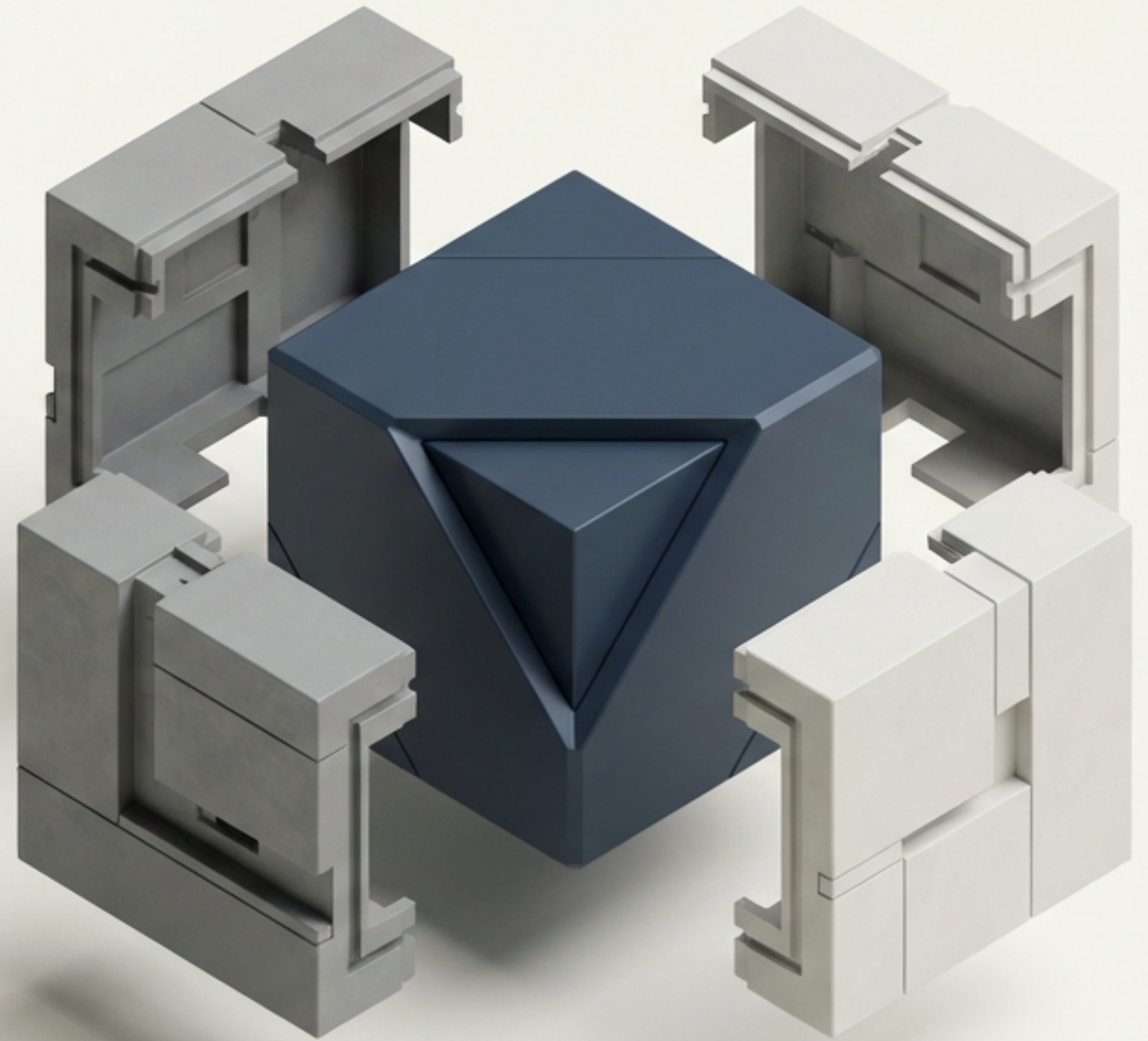


# NAOS——国家を “統制”せず最適化する

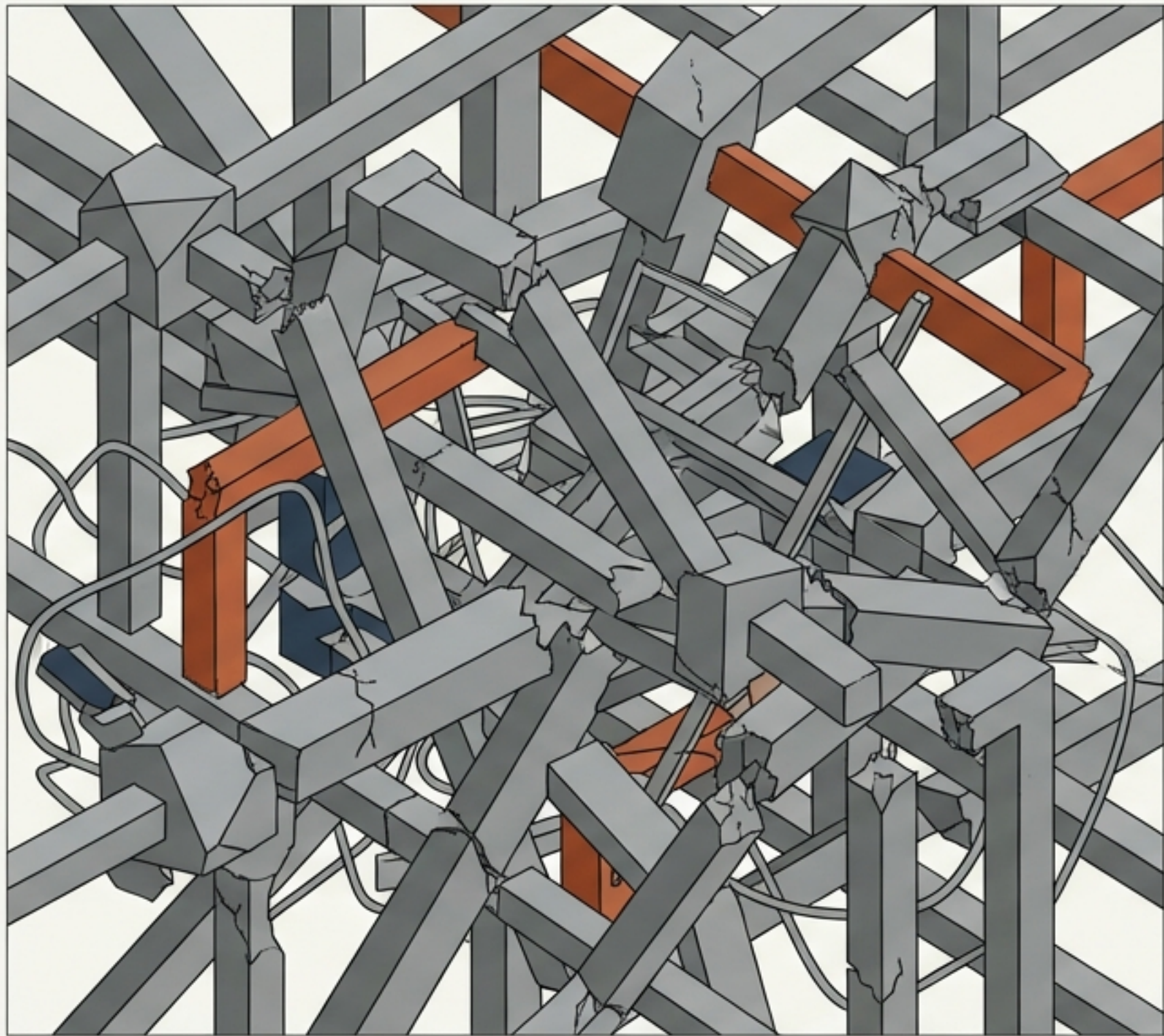
世界へ輸出可能な  
「合意形成OS」の完成

不動産市場OS Vol.9【国家編】



# 国家の意思決定が止まる真の理由

予算不足や技術の遅れではない。「合意形成不全」である。



当事者が『数字と責任』を  
理解した上で合意できない  
状態が、  
国家の機能を停止させる。

# 国家DXとスマートシティの罠

「管理の効率化」は、容易に「統制」と「監視」へ反転する。



統制を増やす前に、説明可能性を増やせ。

# NAOS (National Asset Optimization System) の定義

最適化とは「効率」の最大化ではない。「後悔」の最小化である。

**最適化 = 説明可能性の最大化**

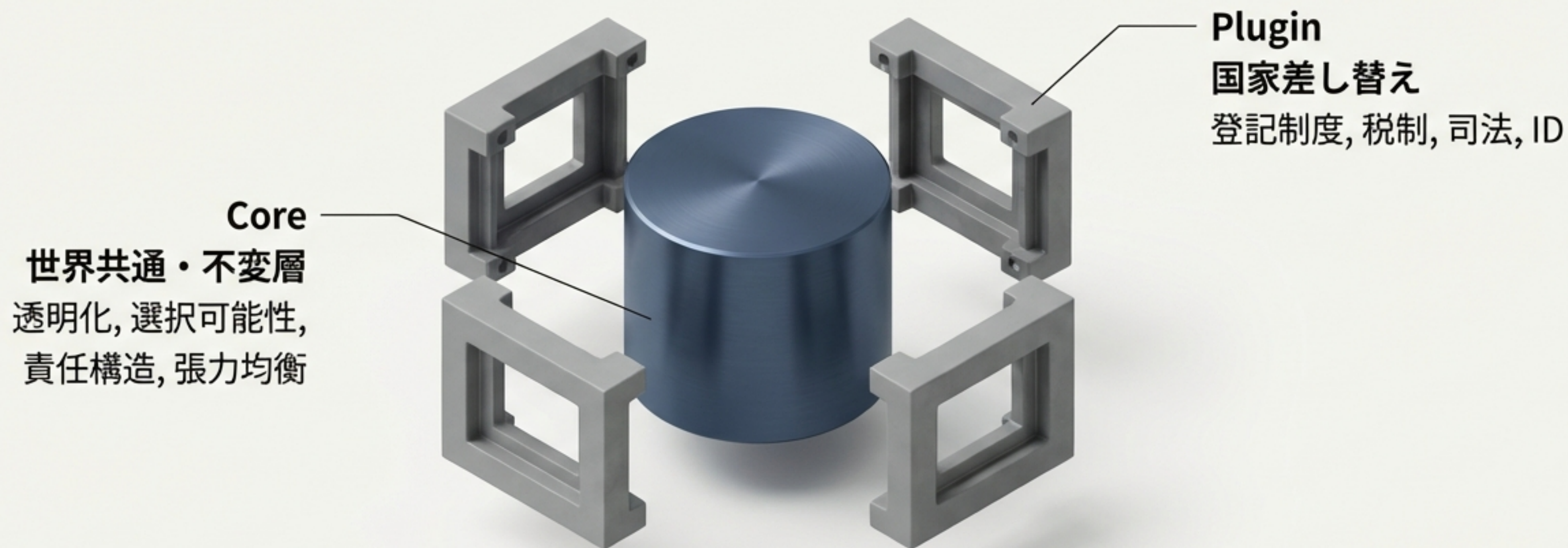
知らなかった  
→透明化で潰す

比較できない  
→シミュレーションで潰す

責任が曖昧  
→スポンサー責任構造で潰す

# 世界展開のための二層アーキテクチャ

法制度は外殻であり、合意形成はプリミティブである。



制度が異なるからこそ、OSを規格化して輸出できる。

# Core：輸出される「合意形成の背骨」

国を変えても、変えてはいけない4つのプロトコル。



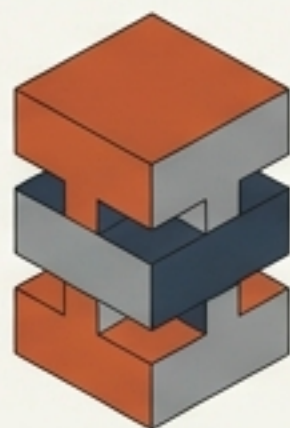
## 透明化

必須開示（価格、リスク、時間、将来コスト、責任帰属）。



## 選択可能性

行動を強制しない。選択肢の提示。



## 責任構造

計算責任(AI)・実務責任(専門家)・意思責任(当事者)の分離。



## 張力均衡

所有者・投資家・事業者・行政・未来世代の五主体の利害を均衡させる。

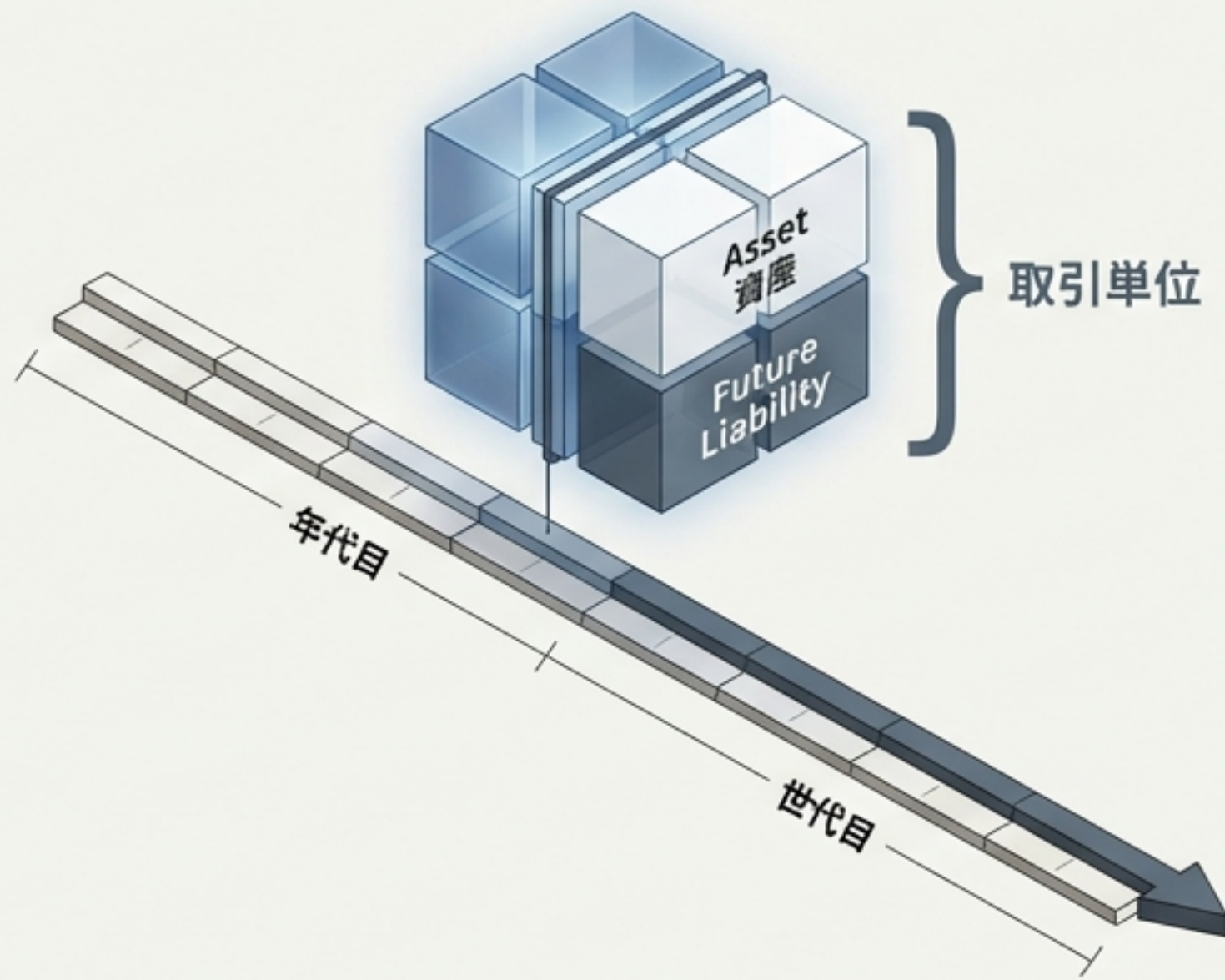
# 国家運営のOS移行：PL中心から「社会BS」へ

見えない将来負担を、意思決定のテーブルに載せる。

Legacy-OS  
(PL / 年度予算)



Nakagawa OS / NAOS  
(社会BS / 責任配分)



# 徴税の再定義：財源ではなく「社会契約の清算」

税は、未来の負担を誰が背負うかのアルゴリズムである。

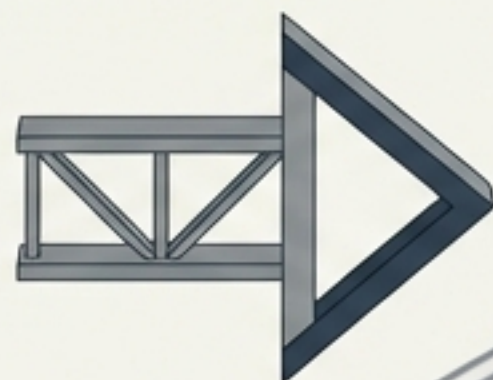
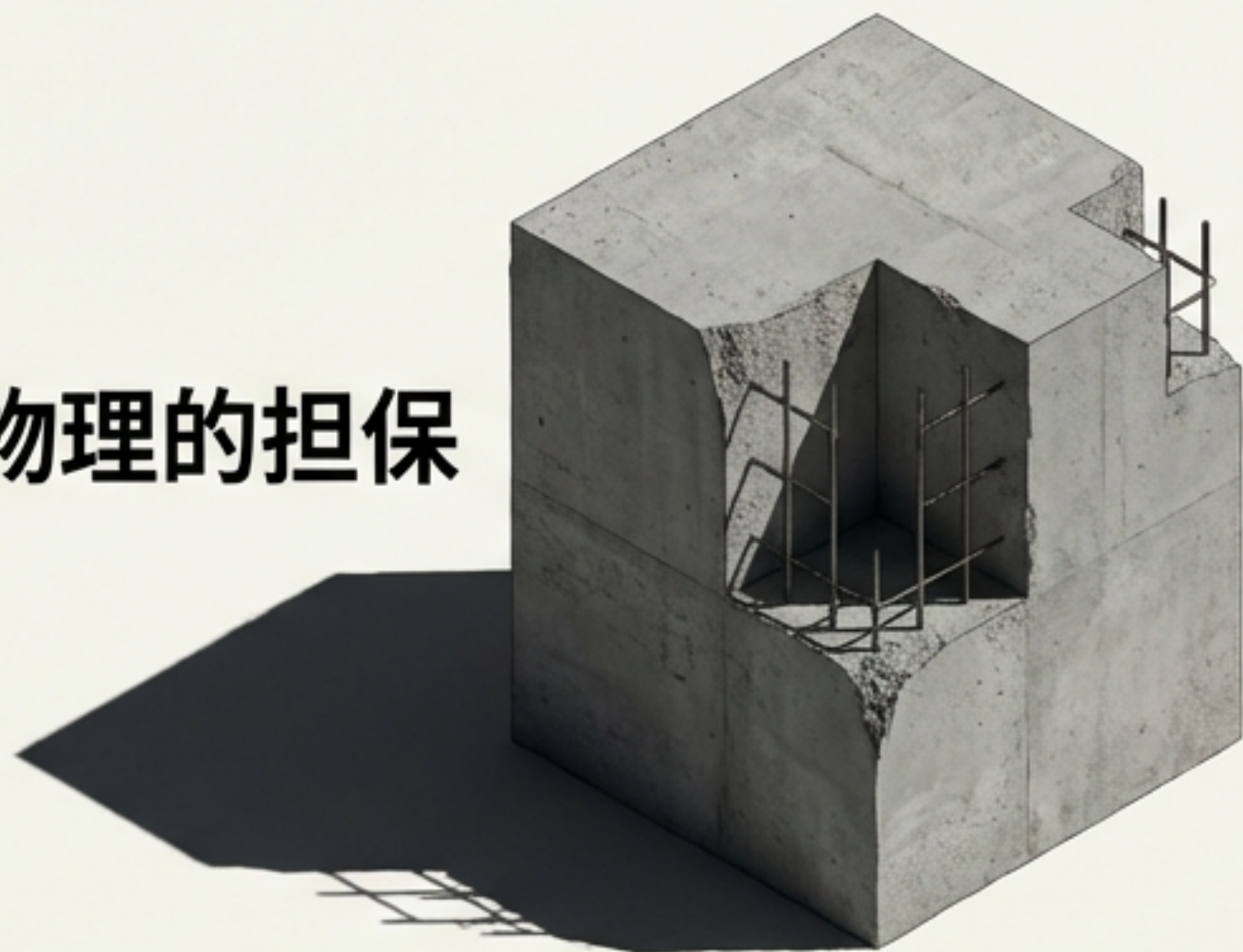


『増税か減税か』の議論から、  
『どの将来負担を誰に配分するか』の議論へ。

# 信用の基礎の移行：担保から「合意履歴」へ

不動産は投機対象から「社会参加の履歴媒体」へ変わる。

物理的担保

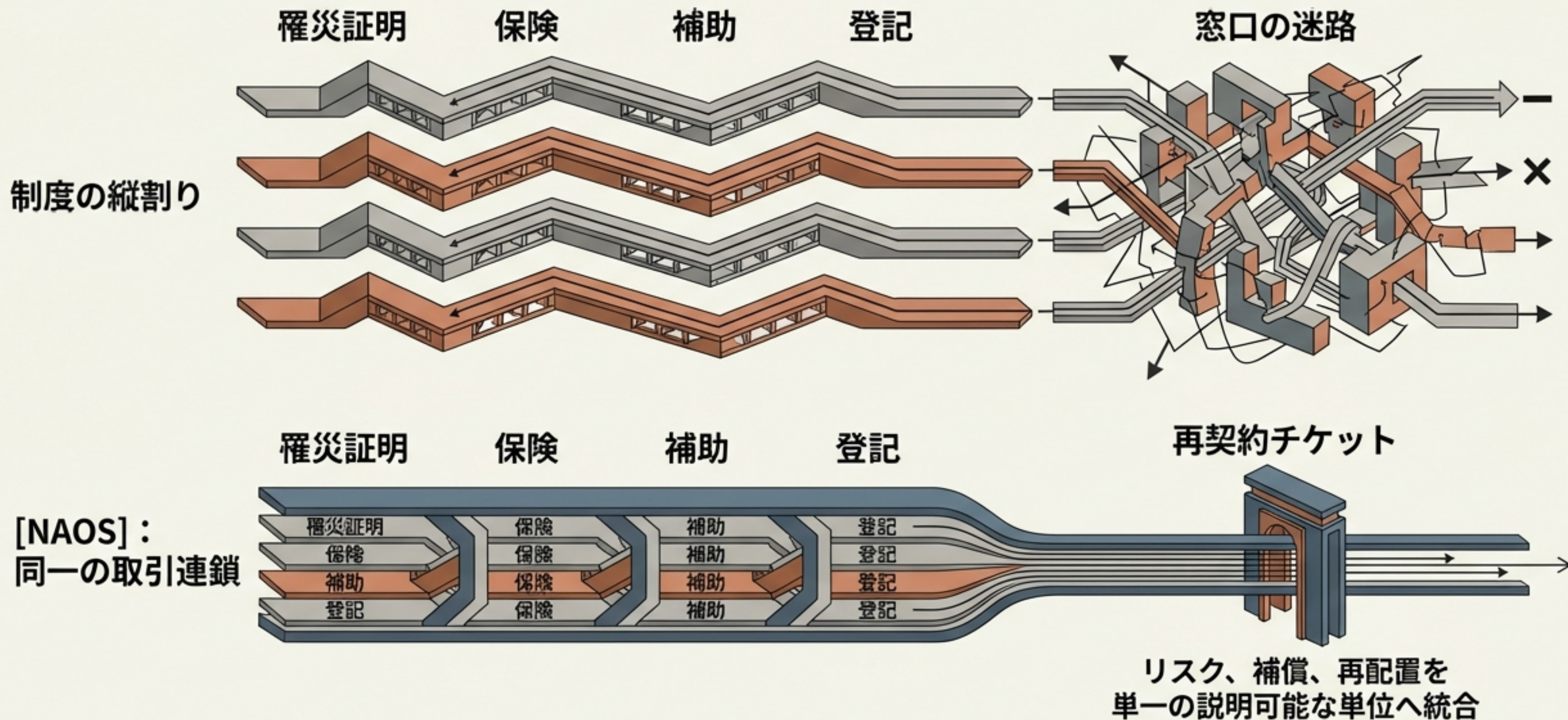


- リスクの開示
- 負担の引受
- 維持管理の実行

信用とは「資産の大きさ」ではなく「合意能力の強さ」に接続される。

# 災害・復興：建設から「再契約プロトコル」へ

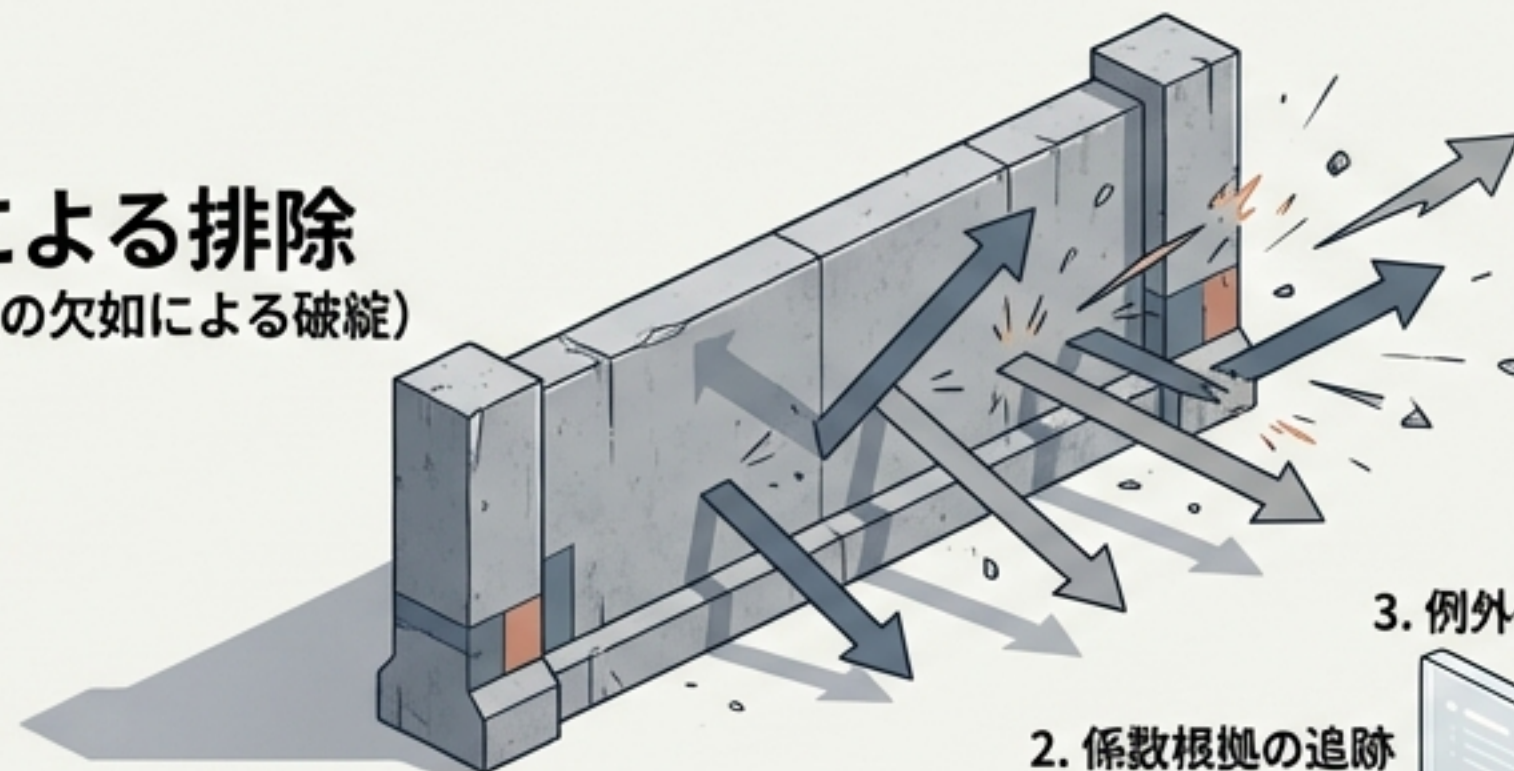
復興の速度を決めるのは、工期ではなく「合意の成立速度」である。



# 安全保障：属性の排除から「説明可能なリスク係数」へ

恐怖を口実にした恣意的な統制を、構造的に無効化する。

**属性による排除**  
(説明可能性の欠如による破綻)

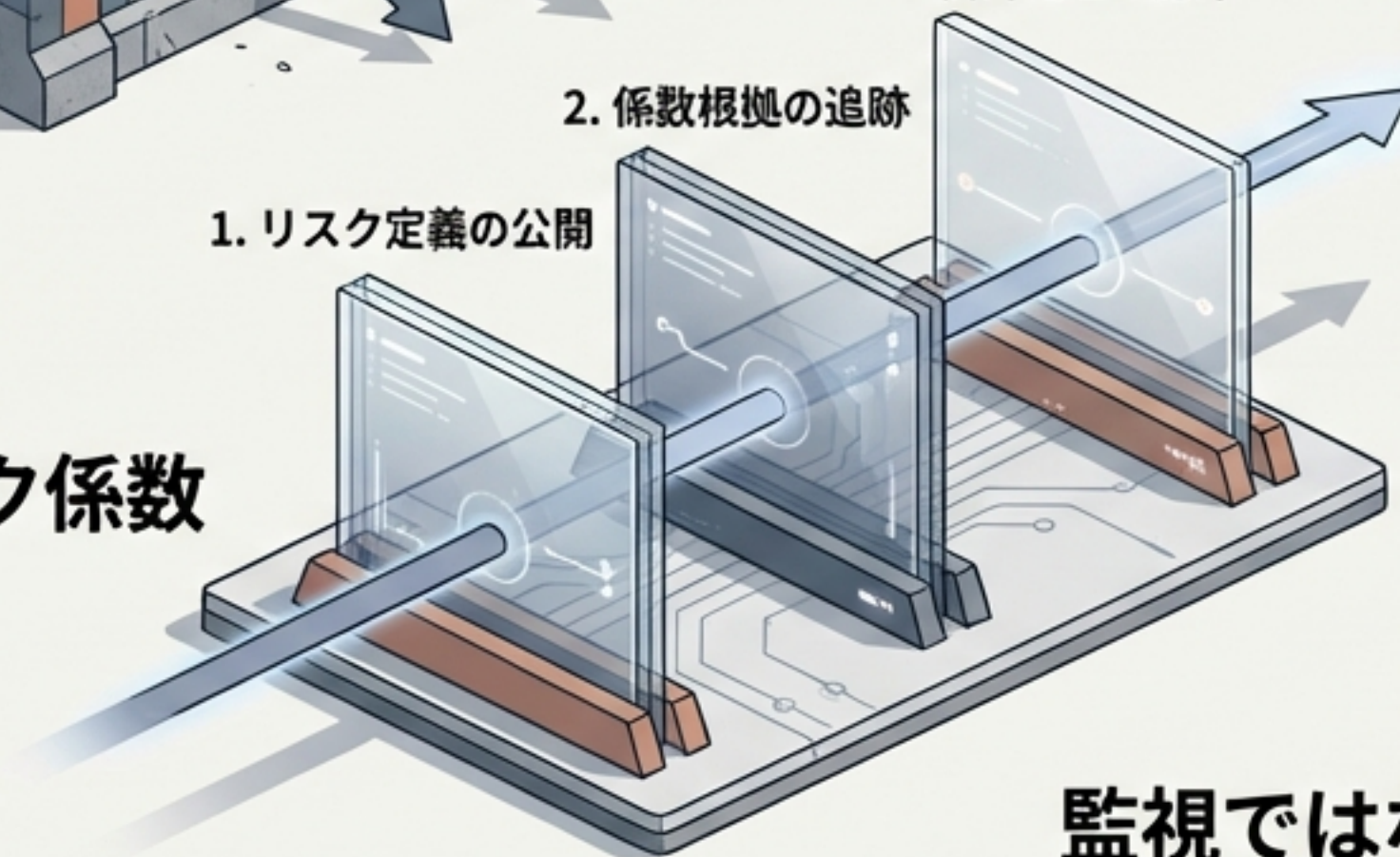


3. 例外処理の記録

2. 係数根拠の追跡

1. リスク定義の公開

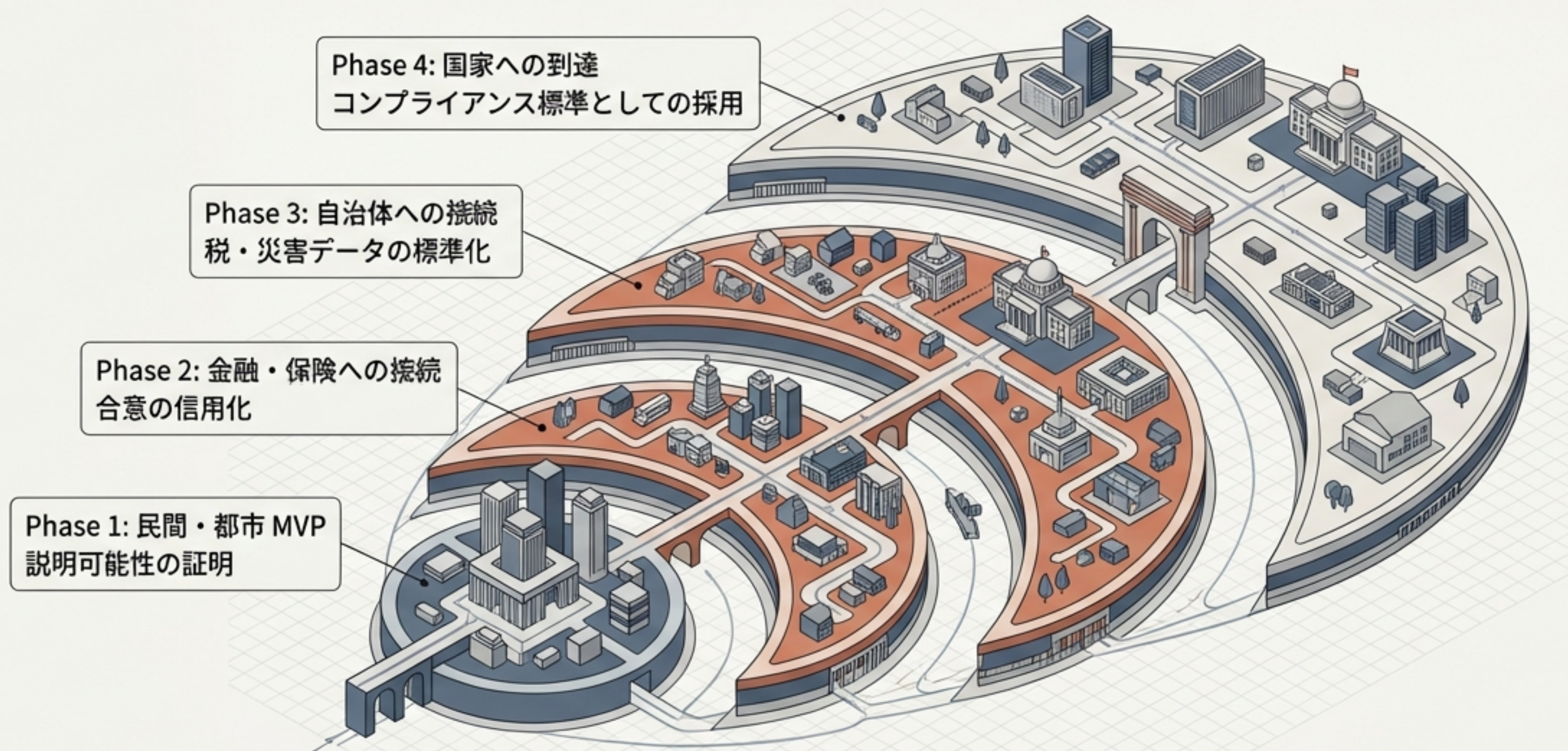
**透明なリスク係数**



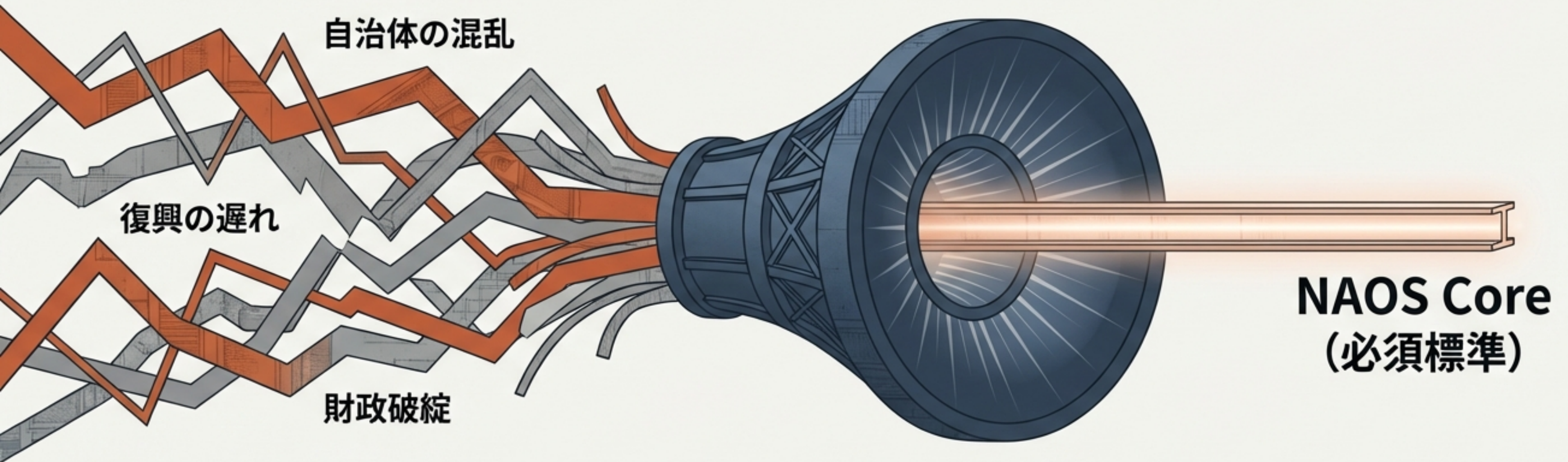
**監視ではなく、説明可能な規制。**

# 実装ロードマップ：トップダウンの幻想と「侵食」の戦略

国家はいきなり導入できない。任意参加の標準から国家を包囲する。



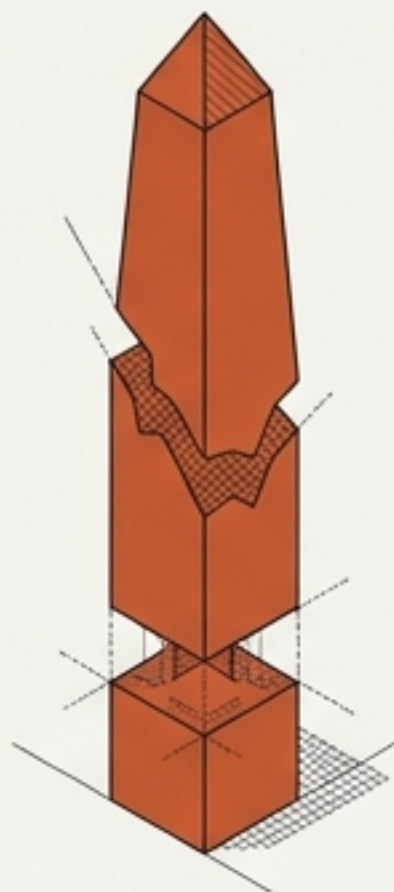
**国家導入の真実：推進ではなく「収束」として起きる  
制度を先に変えるのではない。合意形成の作法を先に変える。**



**国家がやるべきは、新しいシステムを作ることではない。  
合意形成標準として「NAOS」を宣言し、Pluginを統合することである。**

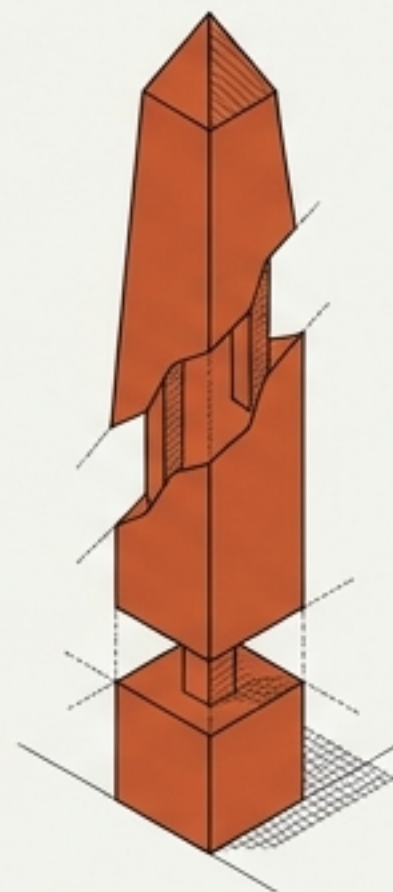
# 世界展開における3つの致命的事故

設計図は、権力や利益によって必ず歪められる。



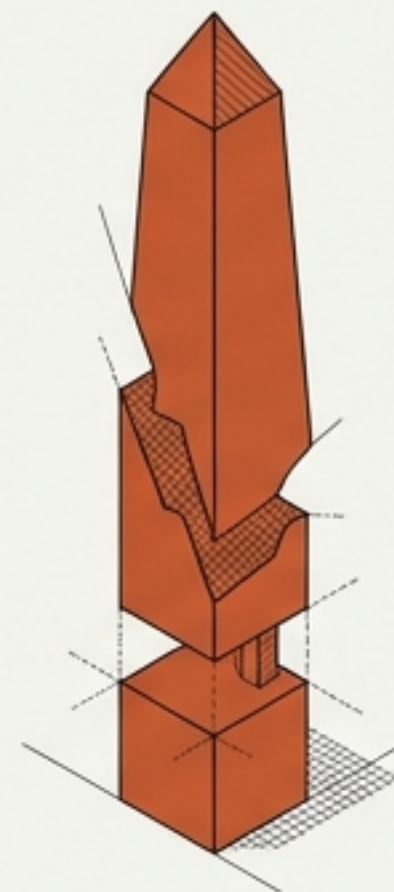
## 1. 国家による濫用

透明性を監視と統制へ吸収する。



## 2. 民間による歪曲

情報弱者を搾取し、選択肢を偽装する。

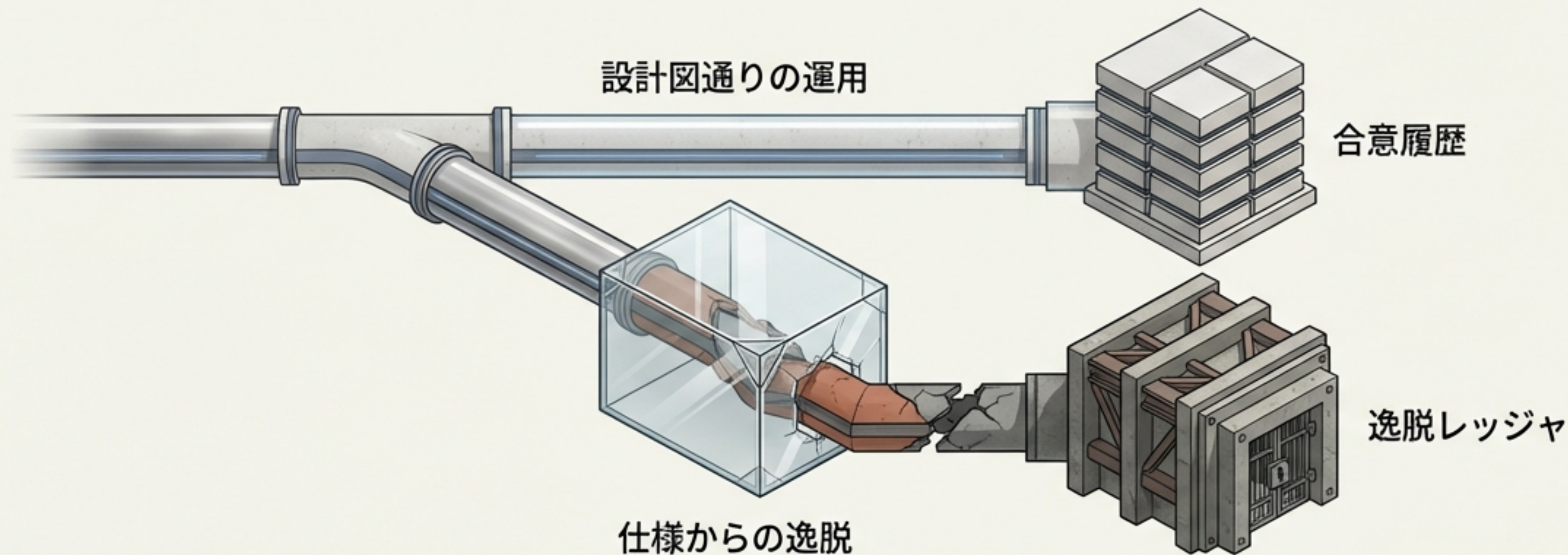


## 3. 部分切り出し

責任を伴わない機能単体の抽出により、張力均衡を破壊する。

# 防衛機構：罰ではなく事実の記録「逸脱レッキャ」

誤用を感情論にせず、構造からの乖離として記録する。



逸脱レッキャは攻撃ではない。設計図から外れた事実の記録である。これにより信用は操作不能になる。

# 輸出規格としての固定：NCL（中川構造ライセンス）

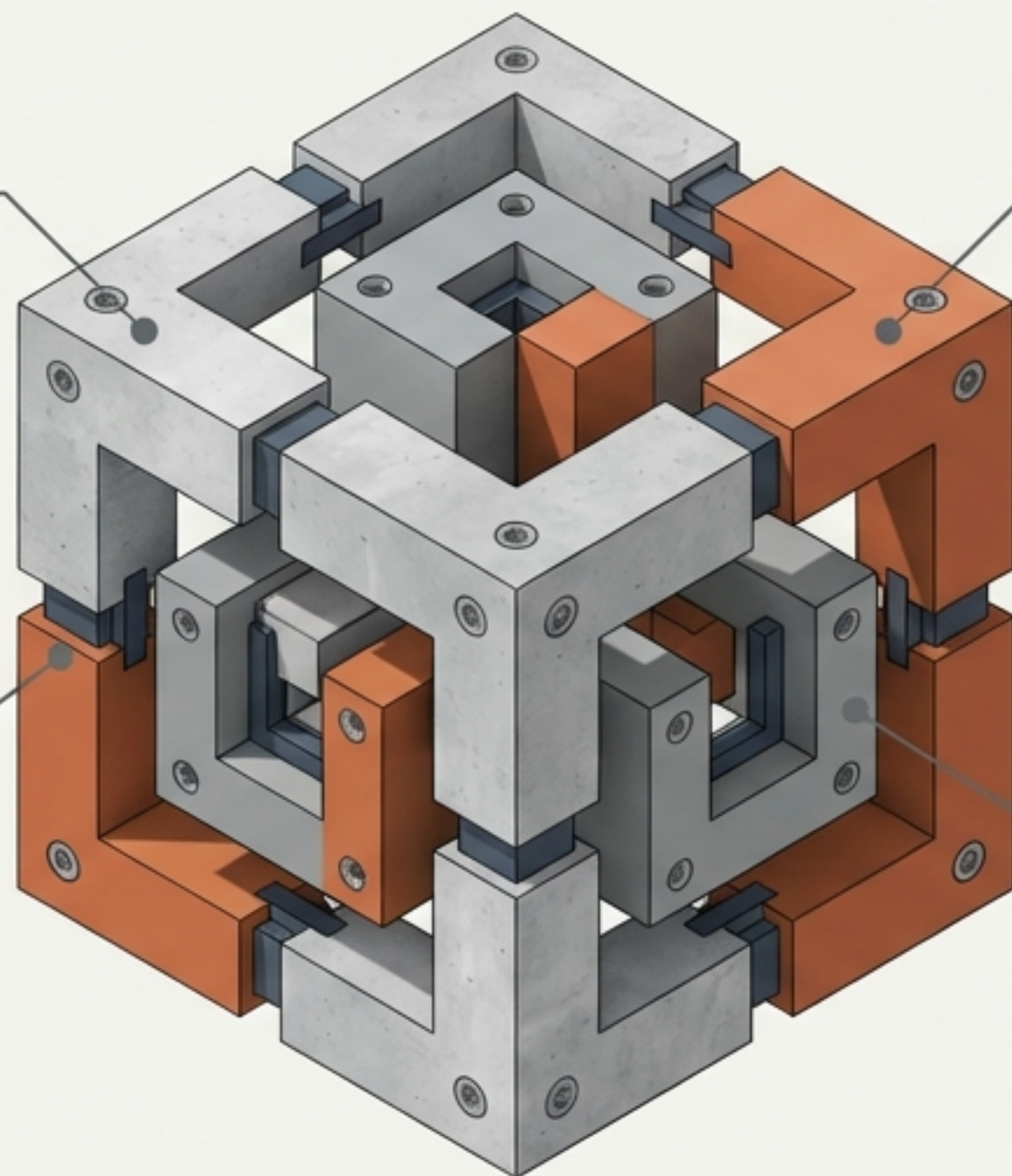
技術の輸出ではなく、倫理・権利・防御を同梱した「規格」の輸出。

## 倫理

目的の固定  
(効率ではなく後悔最小化)  
Noto Sans JP

## 倫理

目的の固定  
(効率ではなく後悔最小化)  
Noto Sans JP



## 権利

当事者保護の固定  
(ブラックボックス判断の禁止)  
Noto Sans JP

## 防御

逸脱の検知と修復  
(張力均衡の維持)  
Noto Sans JP

# 不動産OSから「人類の資産継承プロトコル」へ

最適化とは統治ではない。選択可能性を最大化する文明OSである。

透明性は自由の条件であり、  
合意形成は尊厳の条件である。

日本で起きている課題は未来の予告編。  
だからこそ、ここで生まれたNAOSは  
世界の合意形成インフラとなる。